



2020年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年3月6日

上場会社名 クミアイ化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4996 URL http://www.kumiai-chem.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池好智
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務人事部長 (氏名) 吉村 巧 (TEL) 03-3822-5036
 四半期報告書提出予定日 2020年3月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年10月期第1四半期の連結業績 (2019年11月1日～2020年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第1四半期	23,802	△1.9	1,612	△24.2	2,088	△15.8	1,359	△26.1
2019年10月期第1四半期	24,269	27.3	2,127	143.8	2,480	80.9	1,839	63.5
(注) 包括利益 2020年10月期第1四半期	1,339百万円 (75.5%)		2019年10月期第1四半期		763百万円 (85.2%)			

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年10月期第1四半期	円 銭 10.86	円 銭 —
2019年10月期第1四半期	14.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年10月期第1四半期	百万円 147,859	百万円 99,507	% 63.7
2019年10月期	142,660	99,260	65.9
(参考) 自己資本 2020年10月期第1四半期	94,146百万円		2019年10月期 93,977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年10月期	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 11.00
2020年10月期	—	—	—	—	—
2020年10月期(予想)	—	4.00	—	7.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年10月期の連結業績予想 (2019年11月1日～2020年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,300	△2.0	4,200	△25.1	5,300	△18.2	3,700	△20.6	29.54
通期	113,000	9.3	8,000	4.7	9,800	0.7	6,800	0.2	54.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年10月期1Q	133,184,612株	2019年10月期	133,184,612株
② 期末自己株式数	2020年10月期1Q	8,134,283株	2019年10月期	7,934,971株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年10月期1Q	125,116,604株	2019年10月期1Q	125,259,560株

(注) 2019年12月13日開催の取締役会決議に基づき、子会社が所有する当社普通株式を取得したこと等により、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が199,312株増加しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速の影響が残るものの国内需要への波及は限定的とみられています。しかしながら、米中間の貿易摩擦問題、中国をはじめとするアジア新興国の成長鈍化や世界的な広がりを見せる新型コロナウイルス感染症が与える世界経済への悪影響が懸念される等、先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢の下、当社は本年が最終年度にあたる中期経営計画「Create the Future」の仕上げに向けて、各事業における課題の達成に取り組んでおります。

売上高は、農薬の出荷時期の調整や一部化成品の販売が減少したことにより、23,802百万円、前年同期比468百万円(1.9%)の減少となりました。営業利益は、売上の減少に加え販売費及び一般管理費が増加したことにより1,612百万円、前年同期比515百万円(24.2%)の減少となりました。経常利益は、2,088百万円、前年同期比393百万円(15.8%)の減少となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,359百万円、前年同期比480百万円(26.1%)の減少となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における海外向け売上高の割合は47.3%となりました。

セグメントの概況につきましては以下の通りです。

セグメント	2019年10月期 第1四半期			2020年10月期 第1四半期			前年同期比	
	売上高	売上高 構成比	営業利益	売上高	売上高 構成比	営業利益	売上高 (増減率 %)	営業利益 (増減率 %)
農薬及び 農業関連事業	百万円 17,450	% 71.9	百万円 1,900	百万円 17,224	% 72.4	百万円 1,647	百万円 △226 (△1.3)	百万円 △253 (△13.3)
化成品事業	5,136	21.2	411	4,835	20.3	198	△301 (△5.9)	△213 (△51.9)
その他	1,683	6.9	119	1,743	7.3	103	60 (3.5)	△16 (△13.7)
計	24,269	100.0	2,127	23,802	100.0	1,612	△468 (△1.9)	△515 (△24.2)

(注) 1. 前第1四半期連結累計期間のセグメントの営業利益には、調整額として主に各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない一般管理費)303百万円が含まれております。

2. 当第1四半期連結累計期間のセグメントの営業利益には、調整額として主に各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない一般管理費)336百万円が含まれております。

① 農薬及び農業関連事業

国内販売部門の農耕地向け製品は、水稲用除草剤「エフィーダ剤」の販売が好調に推移しましたが、水稲用箱処理剤や園芸剤は出荷時期の期ずれ等により販売が前年同期比で減少しました。これらの結果、国内販売部門は前年同期を下回りました。

特販部門は、自社開発原体の販売において「エフィーダ」や「ベンスルフロンメチル」等の水稲用除草剤が伸張した結果、前年同期を上回りました。

海外販売部門は、基幹製品である畑作用除草剤「アクシーブ剤」の米国、オーストラリア向けの販売が堅調なものの、欧州での殺菌剤の需要減や植物成長調整剤の出荷時期の調整等の影響を受け前年同期を下回りました。

以上の結果、農薬及び農業関連事業の売上高は17,224百万円、前年同期比226百万円(1.3%)の減少となりました。営業利益は1,647百万円、前年同期比253百万円(13.3%)の減少となりました。

なお、「アクシーブ剤」は、上半期にて昨年米国における天候不順の影響を受けた流通在庫を消化しつつ、新規の出荷を調整し、下半期からは2021年シーズン用に向け出荷促進を行います。

② 化成品事業

塩素化事業はアラミド繊維や高機能樹脂などの原料向けクロロキシレン系化学品が、自動車関連産業の不調の影響を受け販売減となりました。

精密化学品事業は電子材料や高耐熱樹脂原料向けビスマレイミド類は好調に推移したものの、防水剤向けウレタン硬化剤が減少しました。

産業用薬品事業は製紙向け薬剤の受注が好調に推移しました。

発泡スチロール事業は需要の減少により低調となりました。

以上の結果、化成品事業の売上高は4,835百万円、前年同期比301百万円(5.9%)の減少となりました。営業利益は198百万円、前年同期比213百万円(51.9%)の減少となりました。

③ その他

その他の主な事業内容は、賃貸事業、発電及び売電事業、建設業、印刷事業、物流事業、情報サービス事業等であります。

賃貸事業では、引き続き保有資産の有効活用に努め、売上は前年同期並みとなりました。建設業では、前連結会計年度からの繰越工事の増加により売上は前年同期を上回りましたが、費用の増加に伴い営業利益は減少しました。発電及び売電事業、印刷事業並びに物流事業では、売上は前年同期並みに推移しました。

以上の結果、その他全体の売上高は1,743百万円、前年同期比60百万円(3.5%)の増加となりました。営業利益は103百万円、前年同期比16百万円(13.7%)の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は147,859百万円で、前連結会計年度末に比べ5,200百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金、商品及び製品の増加が、原材料及び貯蔵品の減少を上回ったこと等によるものです。

負債は48,353百万円で、前連結会計年度末に比べ4,953百万円の増加となりました。これは主に短期借入金、支払手形及び買掛金の増加が、未払金及び未払法人税等の減少を上回ったこと等によるものです。

純資産は99,507百万円、自己資本比率は63.7%、1株当たり純資産は752円87銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は、2019年10月期の決算発表時(2019年12月13日)の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,354	15,034
受取手形及び売掛金	26,623	28,015
有価証券	30	10
商品及び製品	23,040	27,323
仕掛品	9,032	8,916
原材料及び貯蔵品	6,147	5,757
その他	1,840	1,691
貸倒引当金	△63	△44
流動資産合計	82,003	86,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,394	10,242
機械装置及び運搬具(純額)	7,291	7,401
土地	12,103	12,109
建設仮勘定	727	830
その他(純額)	1,446	1,414
有形固定資産合計	31,961	31,995
無形固定資産		
のれん	4,268	4,133
その他	1,043	1,050
無形固定資産合計	5,310	5,183
投資その他の資産		
投資有価証券	20,783	21,166
長期貸付金	11	310
繰延税金資産	797	866
退職給付に係る資産	156	105
その他	1,772	1,665
貸倒引当金	△133	△133
投資その他の資産合計	23,385	23,980
固定資産合計	60,657	61,157
資産合計	142,660	147,859

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,175	14,706
短期借入金	12,747	21,017
未払金	4,271	2,323
未払法人税等	3,129	442
賞与引当金	1,463	619
その他	796	1,078
流動負債合計	35,581	40,186
固定負債		
長期借入金	311	311
繰延税金負債	2,168	2,499
役員退職慰労引当金	618	576
退職給付に係る負債	4,263	4,266
資産除去債務	39	40
その他	419	475
固定負債合計	7,818	8,167
負債合計	43,400	48,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,534	4,534
資本剰余金	37,137	37,081
利益剰余金	60,196	60,555
自己株式	△5,268	△5,372
株主資本合計	96,600	96,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	833	937
為替換算調整勘定	△3,339	△3,478
退職給付に係る調整累計額	△117	△111
その他の包括利益累計額合計	△2,623	△2,652
非支配株主持分	5,283	5,360
純資産合計	99,260	99,507
負債純資産合計	142,660	147,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年1月31日)
売上高	24,269	23,802
売上原価	17,948	17,631
売上総利益	6,321	6,171
販売費及び一般管理費	4,195	4,559
営業利益	2,127	1,612
営業外収益		
受取利息	14	9
受取配当金	98	89
持分法による投資利益	409	350
貸倒引当金戻入額	17	19
その他	68	74
営業外収益合計	605	541
営業外費用		
支払利息	5	17
売上割引	4	1
為替差損	235	30
その他	8	18
営業外費用合計	252	65
経常利益	2,480	2,088
特別利益		
固定資産処分益	91	23
受取保険金	9	8
特別利益合計	100	31
特別損失		
固定資産処分損	5	17
投資有価証券評価損	—	0
ゴルフ会員権評価損	0	0
支払補償費	—	24
災害による損失	10	4
事務所移転費用	10	—
特別損失合計	25	45
税金等調整前四半期純利益	2,555	2,073
法人税等	701	705
四半期純利益	1,854	1,368
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,839	1,359

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
四半期純利益	1,854	1,368
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△225	104
為替換算調整勘定	△84	△48
退職給付に係る調整額	7	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△790	△92
その他の包括利益合計	△1,091	△29
四半期包括利益	763	1,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	750	1,330
非支配株主に係る四半期包括利益	13	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注) 1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 3
	農業及び 農業関連 (百万円)	化成品 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	17,450	5,136	22,586	1,683	24,269	—	24,269
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	691	691	△691	—
計	17,450	5,136	22,586	2,374	24,960	△691	24,269
セグメント利益	1,900	411	2,311	119	2,430	△303	2,127

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、発電及び売電事業、建設業、印刷事業、物流事業、情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△303百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注) 1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 3
	農業及び 農業関連 (百万円)	化成品 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	17,224	4,835	22,059	1,743	23,802	—	23,802
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	14	14	788	802	△802	—
計	17,224	4,848	22,072	2,531	24,603	△802	23,802
セグメント利益	1,647	198	1,845	103	1,948	△336	1,612

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、発電及び売電事業、建設業、印刷事業、物流事業、情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△336百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。